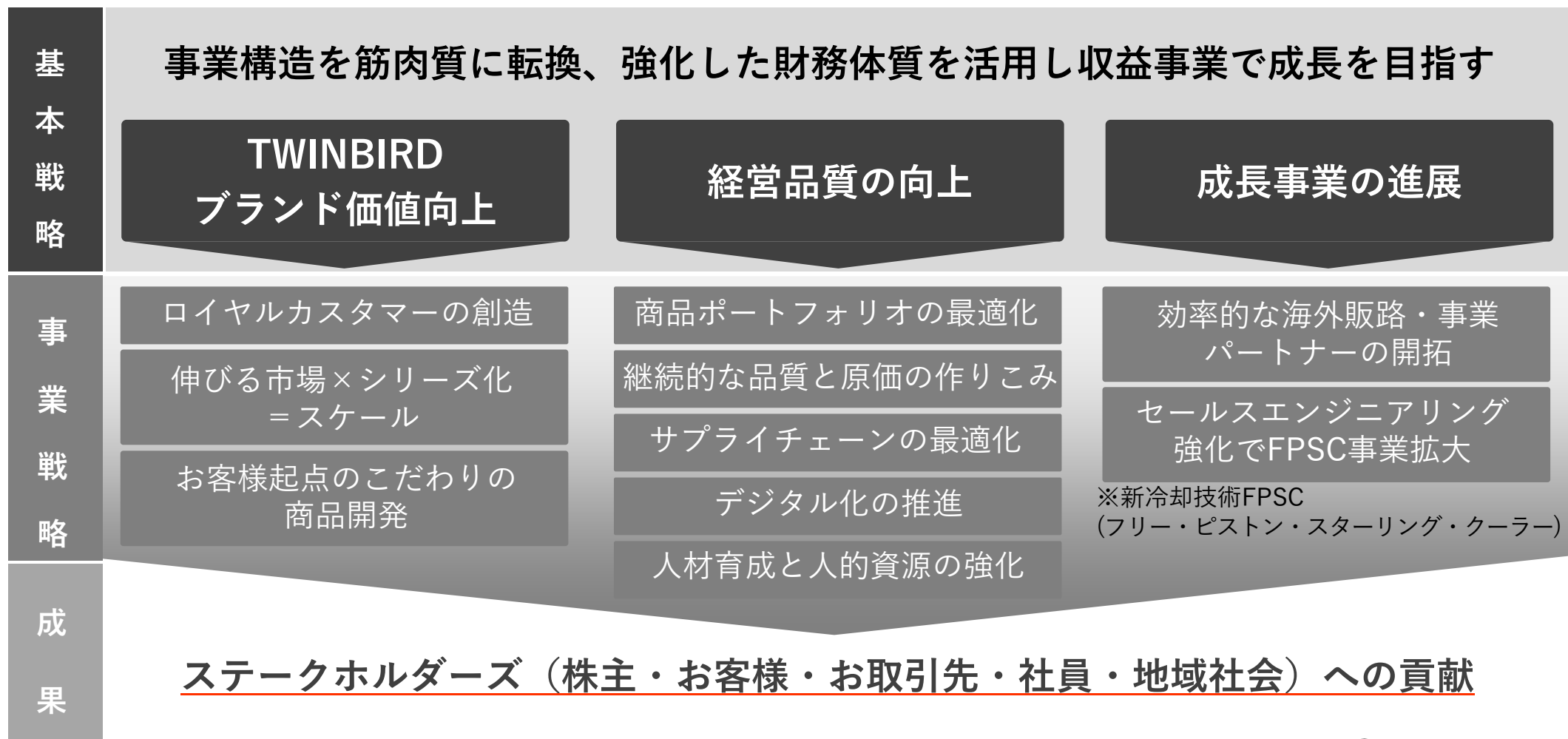


中期経営計画の進捗状況と今後の事業展開

2022年4月26日
ツインバード工業株式会社
証券コード：6897

中期経営計画（2020-2022）の骨子：基本戦略・事業戦略



中期経営計画（2020-2022）

財務目標の達成状況

(百万円)	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2020 中計目標	2021 実績	2021 中計目標	2022* 中計目標
純売上高	11,625	12,159	12,505	12,200	12,869	12,600	13,180
営業利益	113	178	608	250	719	350	480
営業利益率	1.0%	1.5%	4.9%	2.1%	5.6%	2.8%	3.6%
経常利益	57	66	484	130	610	230	450
当期純利益 (親会社株主帰属)	18	△133 29*	164	60	419	150	300
ROE	0.3%	△2.1% 0.5%*	2.3%	0.9%	5.0%	2.3% 以上	4.6% 以上
自己資本比率	51.9%	54.6%	62.2%	59% 程度	78.2%	60% 程度	62% 程度

ロードマップ2
(2023年度以降)

強化した
財務体質を
活用し、
収益の伴う
事業で成長を
目指す

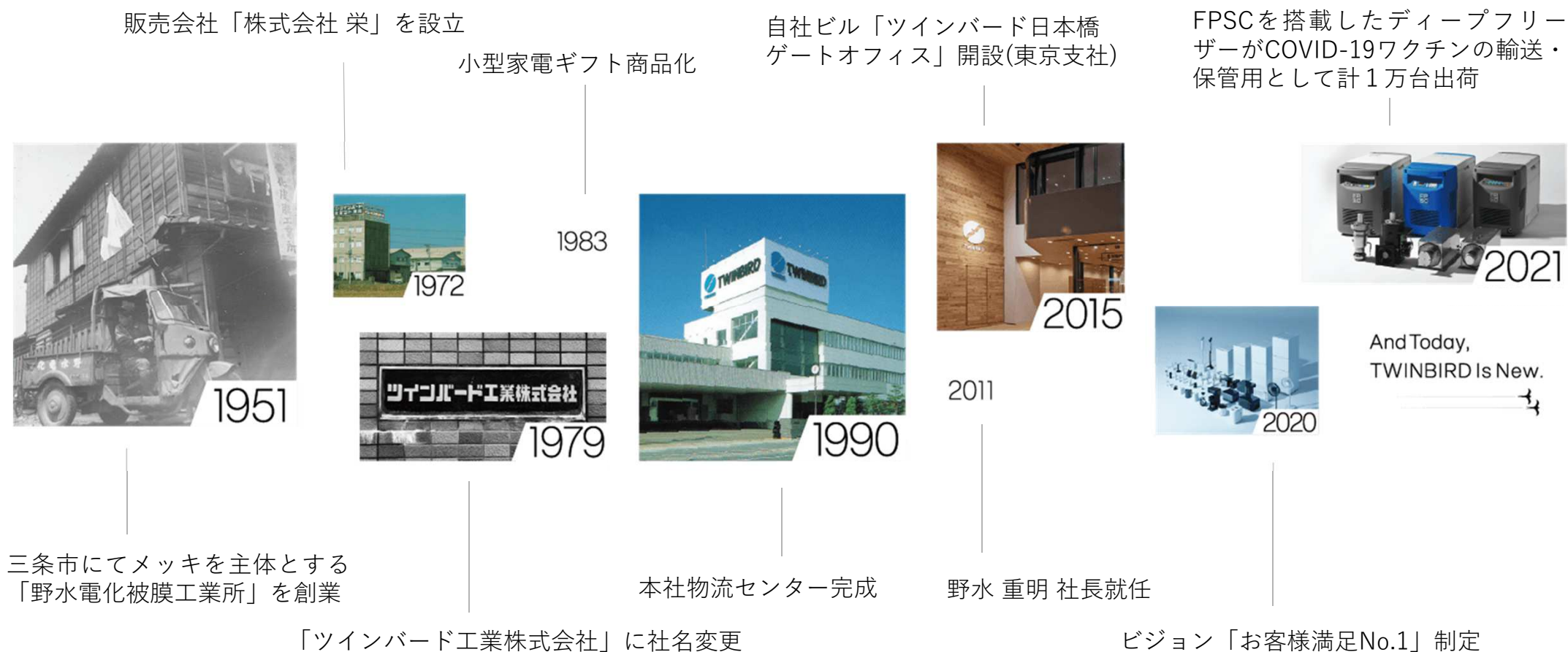
*投資有価証券評価損（211百万円）を除いた数値

* 2022年度の中計目標は収益認識会計基準適用後の数値となります

ロードマップ1
(2019-2022年度)

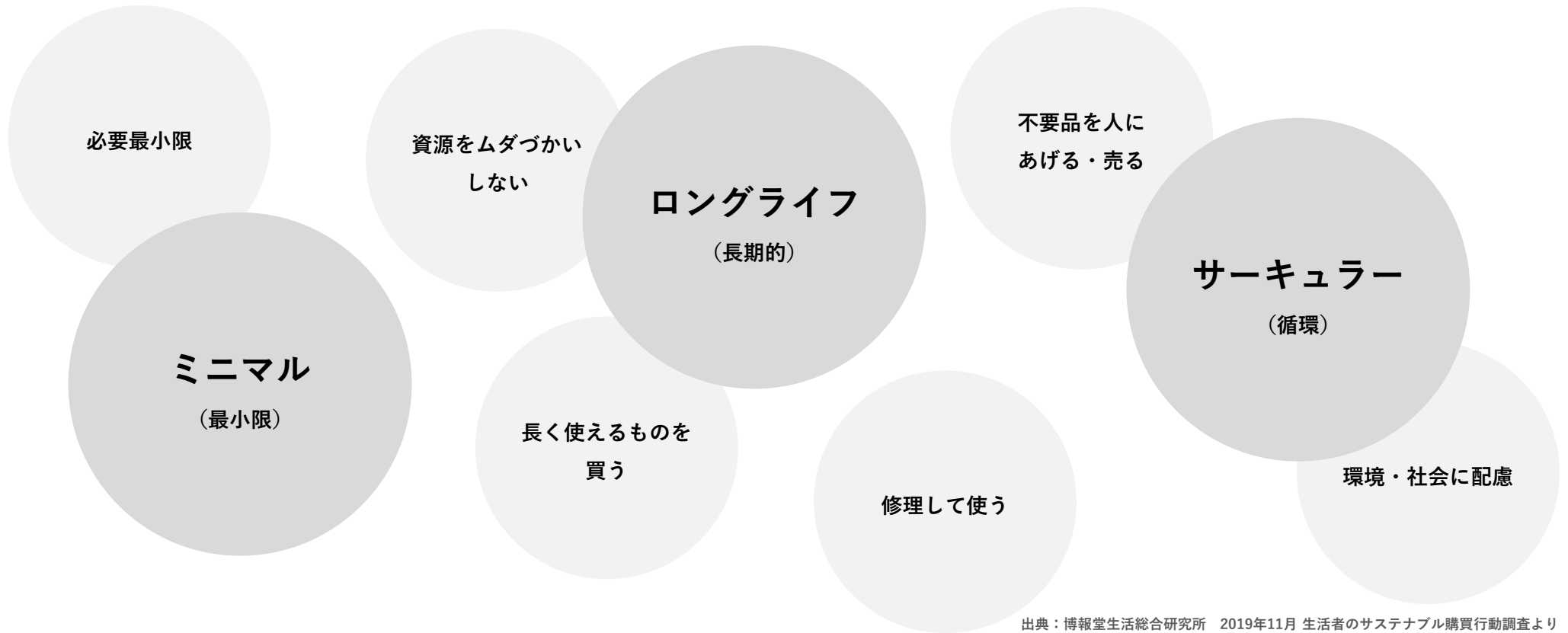
収益性と資産効率を改善し、
自己資本の充実・投資余力の確保を図る

ツインバード、創業70年の変遷とリブランディングの経緯



生活者の今

生活者のサステナブル購買行動調査結果



ツインバードが大切にすべき価値観

時代に左右されない

ずっと安心して使える

本質的な豊かさ

TWINBIRDの強み - クラフトマンシップと共創の精神



各分野のプロフェッショナルや専門家

新潟県燕三条地域の
金属加工技術と職人魂
大学や研究所の研究者

ユーザー
の視点
(コンテンツ)
(プラットフォーム)



プロ
の視点
(本物)
(物語)

マイスター
の視点
(技術)
(品質)

共創

クリエイター
の視点
(デザイン)
(統一感)

技術と芸術の融合

ユーザーが求める価値を見極め、
絞り込んだ本質機能とデザインを
高いレベルで融合させ作り込む



共創の精神

クリエイティブ会社のデザイナー
広告代理店のクリエイター

ツインバードの経営理念

経営理念

感動と快適さを提供する商品の開発
相互信頼を通じた豊かな関係作り
快活な職場づくりへの参画と社会の発展への寄与
自己の成長と豊かな生活の実現

ビジョン

お客様満足No.1

パーパス

感動と快適さの提供による人々のライフバリューの向上
燕三条地域特性を生かした付加価値創造と地域経済成長の牽引
グローバル視点で活動し、国内外の社会課題の解決

ブランドプロミス

心にささるものだけを。

バリュー

お客様(=エンドユーザー)に寄り添う、お客様第一主義
燕三条の職人氣質でこだわり、最後までやり抜く
スピード感を持ってチャレンジする「まずやってみる」
目標達成のために部署や役職に境目なく互いに助け合う

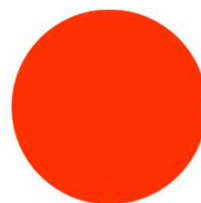
2021年11月 創業70周年 リブランディングを宣言

新コーポレートロゴ/ ブランドプロミス発表

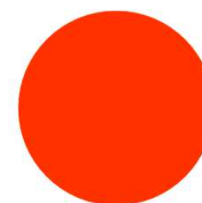
心にささるものだけを。



2つのブランドラインを立ち上げ



Takumi Premium



Kando Simple

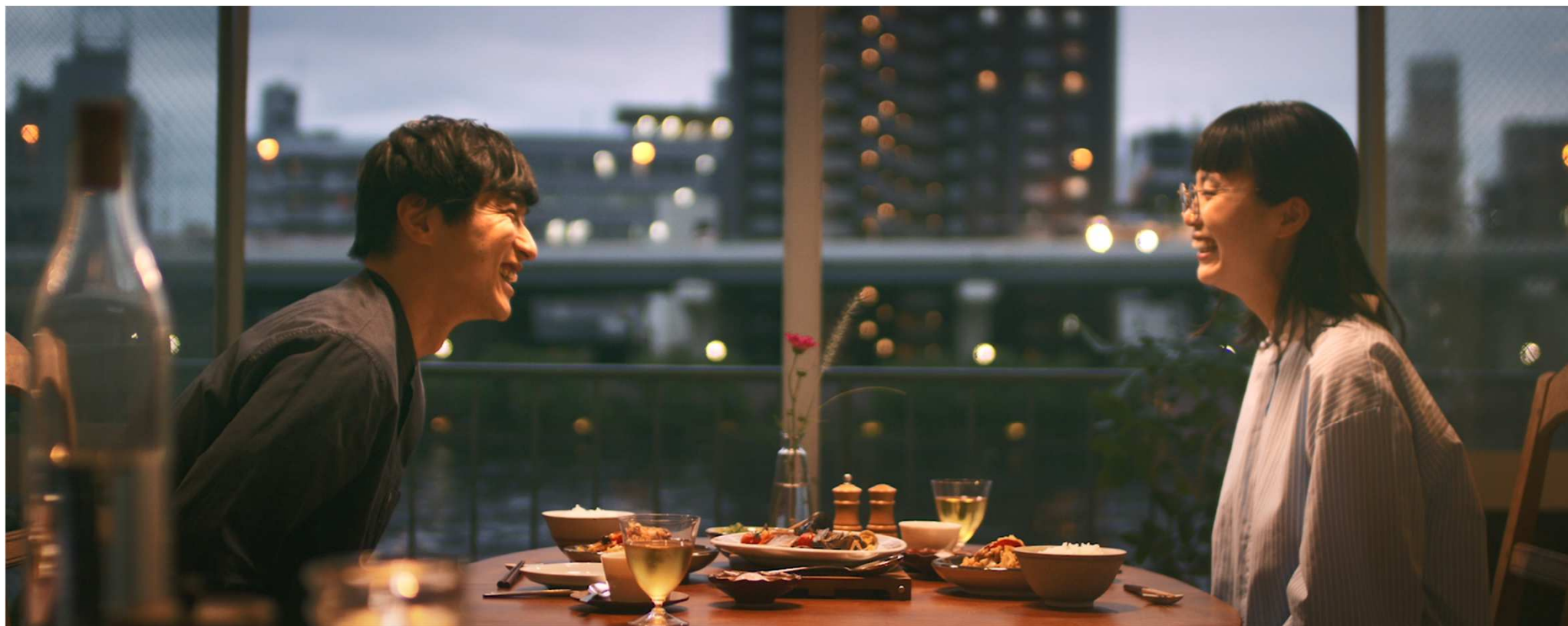
感動シンプル ブランドラインの第1弾 スチームオーブンレンジ

戦略的新商品「感動シンプル」：本当に必要なものだけがくれる感動と快適
「上下で包み込むWスチーム」スチームオーブンレンジ 2022年1月発売



ターゲット

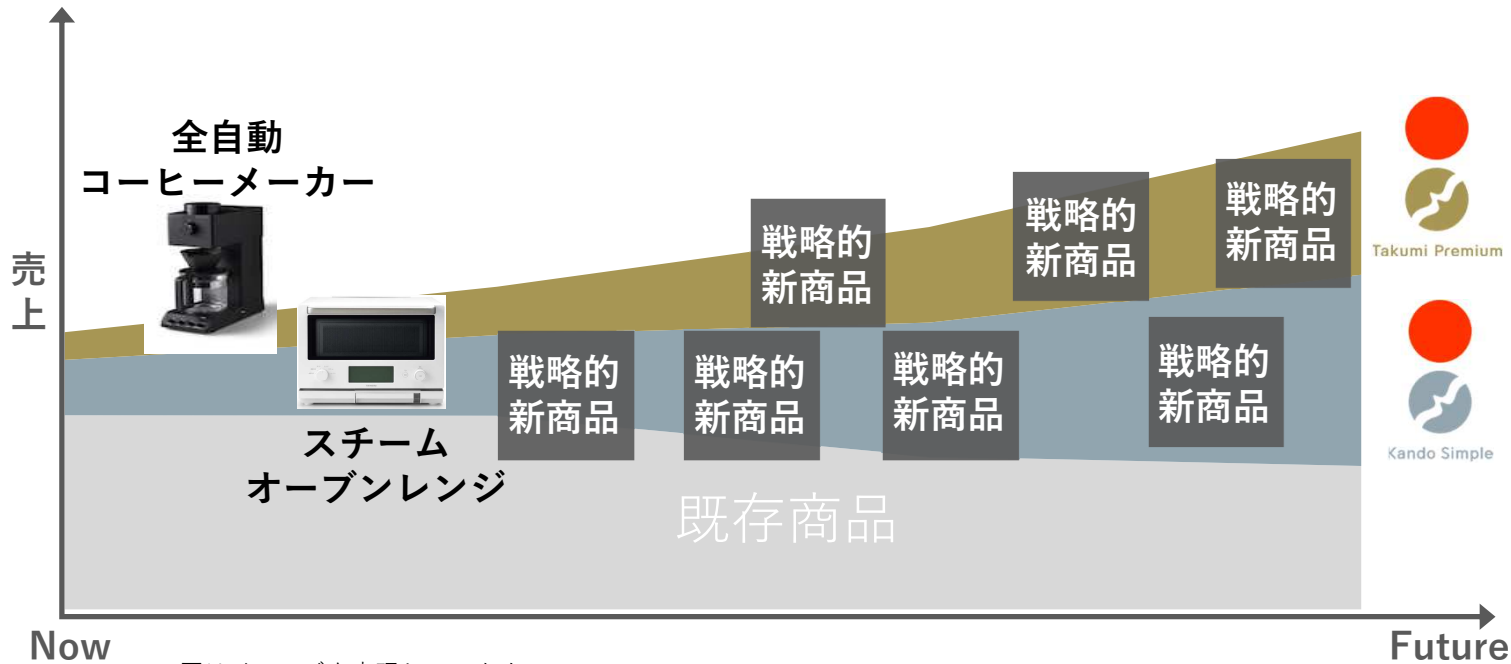
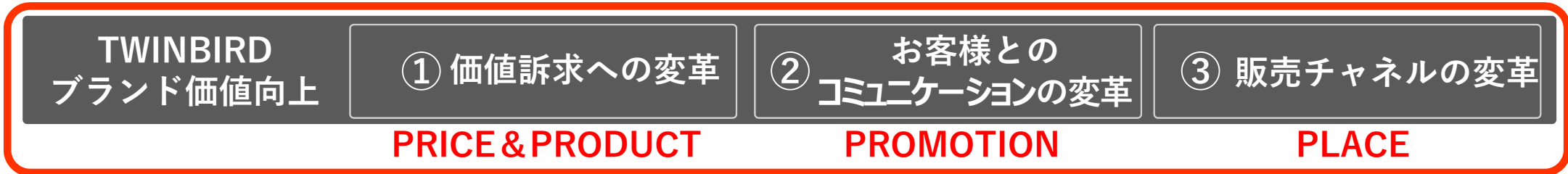
シンプルでこだわりの強い少人数世帯の生活者 特に、自分で料理のアレンジもする
忙しい時は時短調理もして、時間の使い方が上手な料理に慣れている方



シグナルを揃えるための活動（インナーブランディング）



家電事業の収益性向上と成長のシナリオ



「匠プレミアム」と「感動シンプル」のブランドラインに革新的な戦略的新商品を投入し、事業拡大を図る

既存商品は商品点数を削減しながらも一点当たりの売上高を最大化し、収益性を改善

- 図はイメージを表現しています。
- 【免責事項】 上記記述内容には、将来の見通しや取組み内容に関する記述が含まれています。これらの記述は、当該資料を作成した時点における情報や予測に基づいて作成されたものであり、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は様々な要因により、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

① 価値訴求への変革：体験価値訴求型へのシフト

戦略的新商品「匠プレミアム」：匠の技をおうちで好きなだけ味わえる
プロのハンドドリップを再現した全自動コーヒーメーカー



②お客様とのコミュニケーションの変革

購入前のみならず、ユーザーとの継続的なコミュニケーションへ



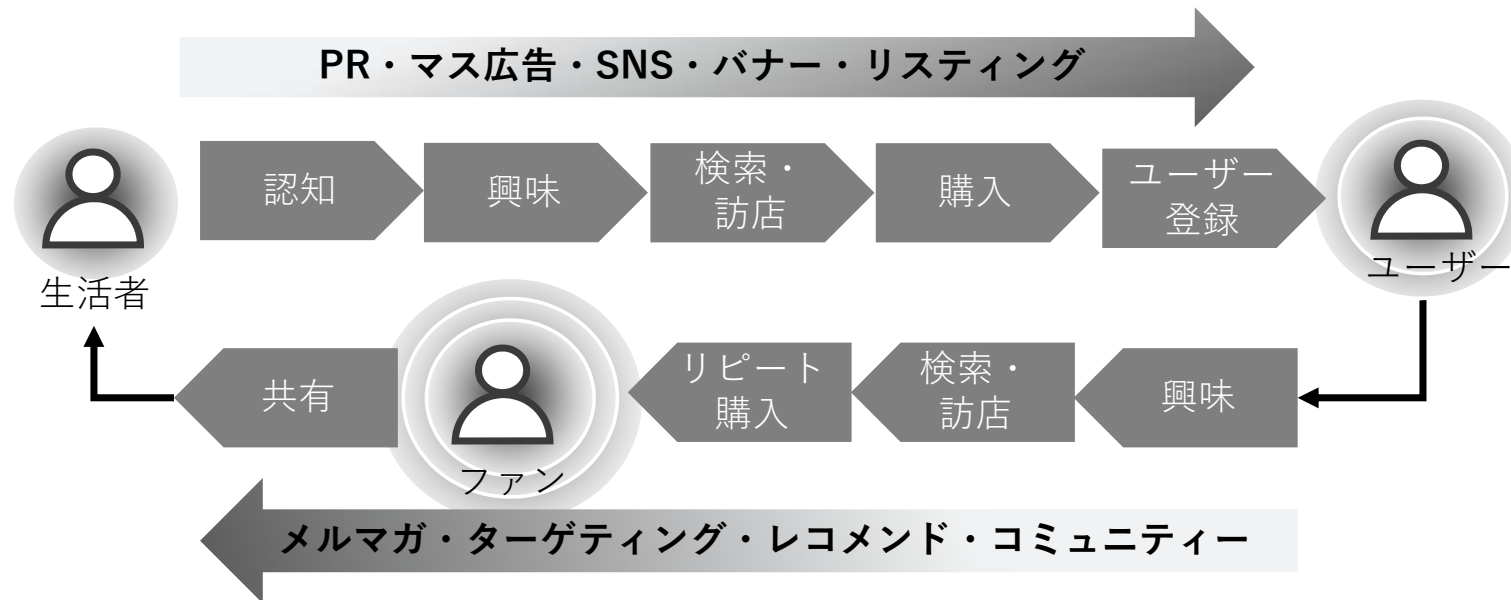
▲ Youtube露出

体験価値訴求(リブランディング)

ブランド世界観と高い気品を表現
戦略的なメディア露出
お客様とのタッチポイントの品質強化
HP・ECサイトリニューアル

継続的なコミュニケーション

ファンづくり
SNS・自社メディア・CRM整備



③販売チャネルの変革

世界観を表現する売場

既存お取引先の展示再構築やツインバードブランドに共感頂く小売店の新規開拓



家電量販店
ギフトカタログ



自社EC
D2C
百貨店
専門店

リアルとデジタルの融合

サイト統合リニューアルにより、ECを訪れるお客様に最高のお買い物体験を提供



家電事業の収益性向上と成長のシナリオ

TWINBIRD
ブランド価値向上

① 価値訴求の変革

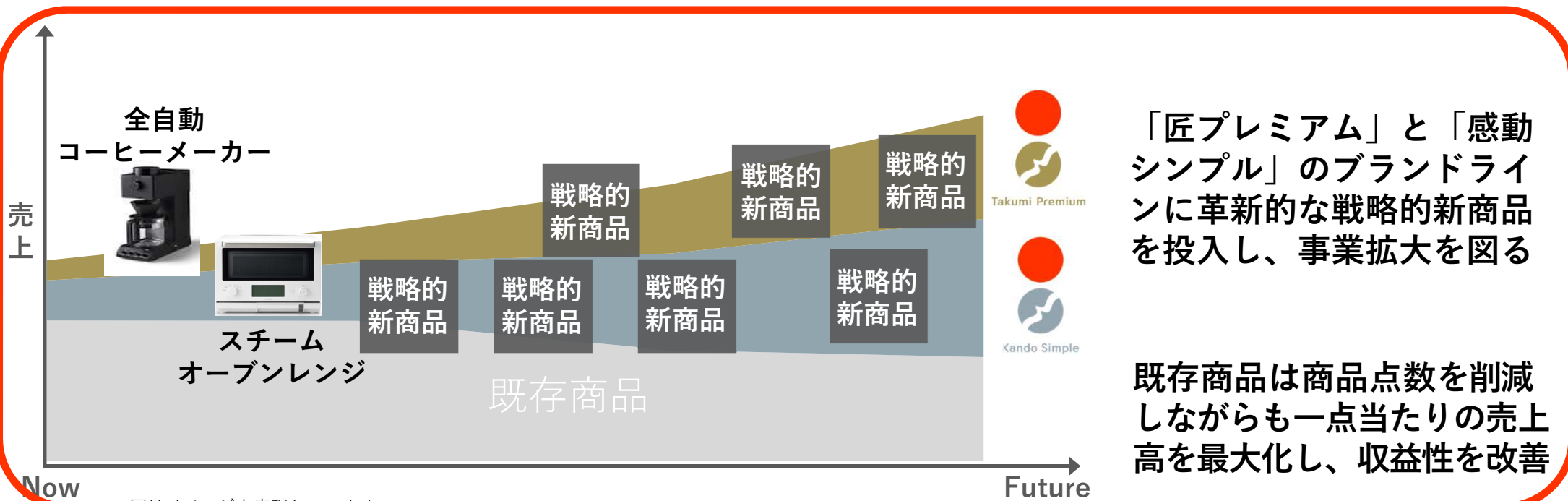
PRICE & PRODUCT

② お客様との
コミュニケーションの変革

PROMOTION

③ 販売チャネルの変革

PLACE



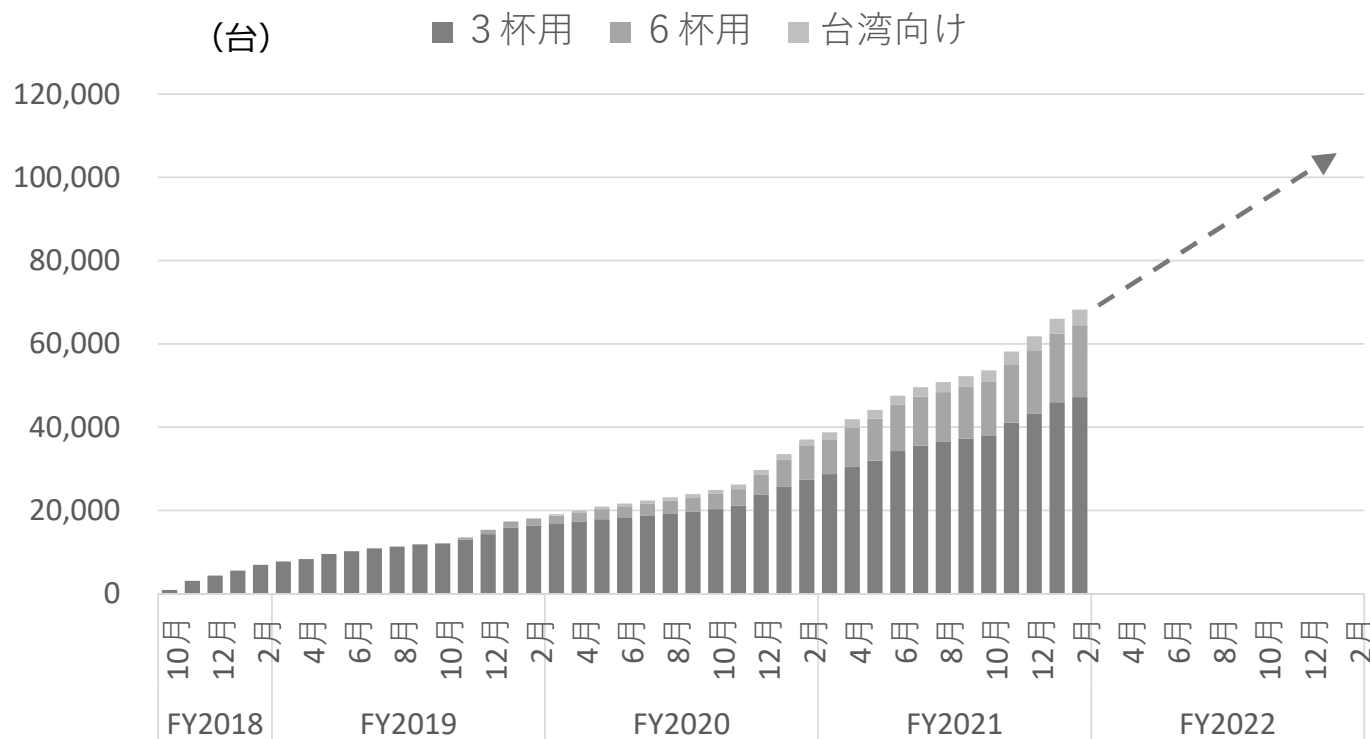
図はイメージを表現していません。

【免責事項】・ 上記記述内容には、将来の見通しや取組み内容に関する記述が含まれています。これらの記述は、当該資料を作成した時点における情報や予測に基づいて作成されたものであり、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は様々な要因により、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

匠プレミアム代表製品：全自動コーヒーメーカーの販売推移

大変ご好評いただいている全自動コーヒーメーカーの販売は、2018年の販売開始から順調に伸長
直近では月販売台数が4,000台を超え、累計では70,000台に到達

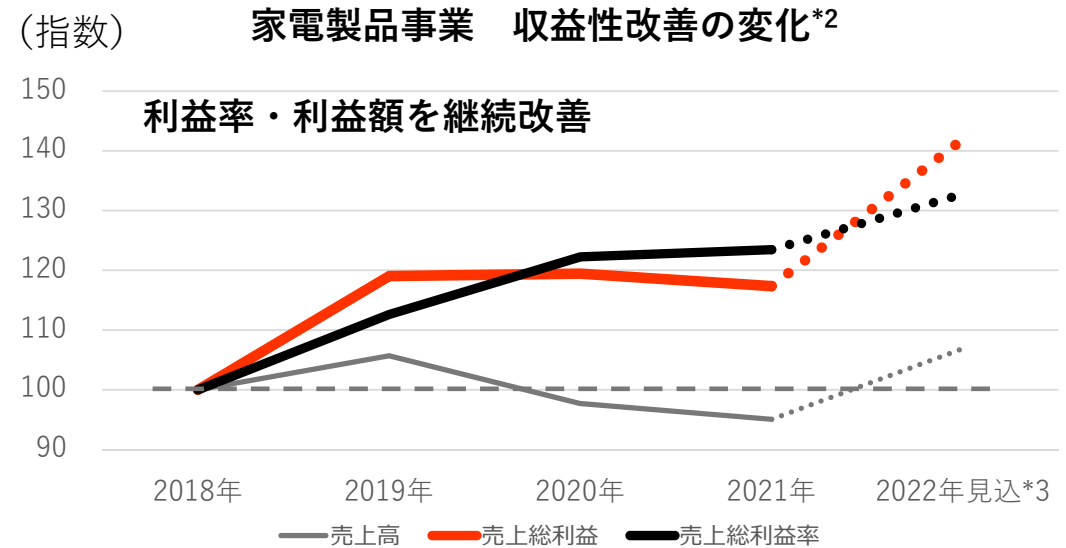
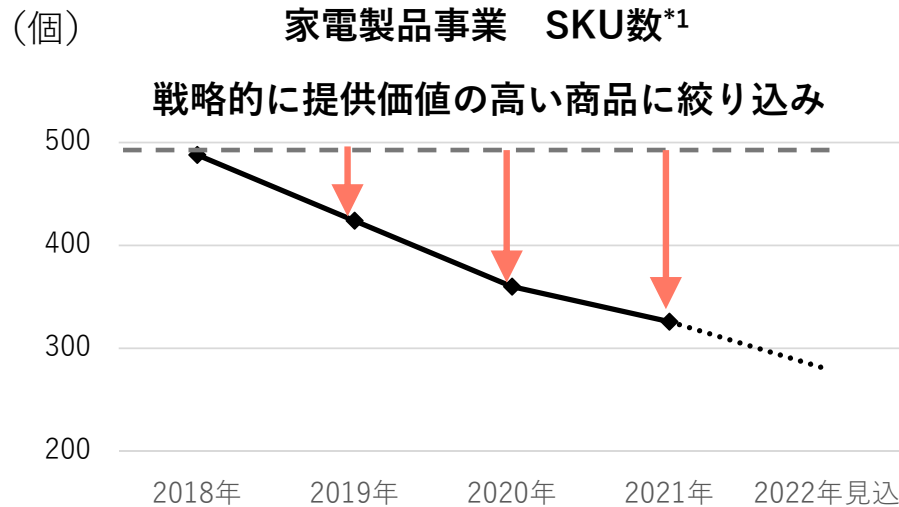
匠プレミアム：全自動コーヒーメーカー | 累計出荷台数



累計
約70,000台

商品点数の絞り込みと収益性の改善

商品点数を1/2以下に絞り込みながらも、売上総利益率など収益性は改善



*1 SKU数：廃番品を除く販売実績のある家電製品点数（FPSC・外販事業を除く）

*2：2018年を100とした場合の指数 *3：2022年は収益認識会計基準適用後

- ✓ 商品ポートフォリオを付加価値の高い商品に絞り込み
- ✓ 2021年は原価高騰の影響を受けながらも、収益性を改善
- ✓ 今後もSKU削減の波及効果（原価低減・品質安定化・開発効率改善・管理コスト削減等）を取り込む

商品点数の絞り込みと波及効果の取込み

- ① 商品点数を1/2以下に絞り込みながらも、売上総利益率など収益性は改善
- ② 各機能における波及効果の取込み → 利益率の最大化 目標：年率1~2%改善

商品企画： 企画の重点化による練度の向上

(**新商品数：2016年88点→2021年23点と1/4に削減**)

開発： 開発点数の削減による開発効率、専門性向上 (同上)

調達生産： コストダウンと製造品質の安定化

(**全商品数：2016年663点→2022年345点と1/2に削減**)

営業・マーケティング： プロモーション重点化、営業生産性改善 (同上)

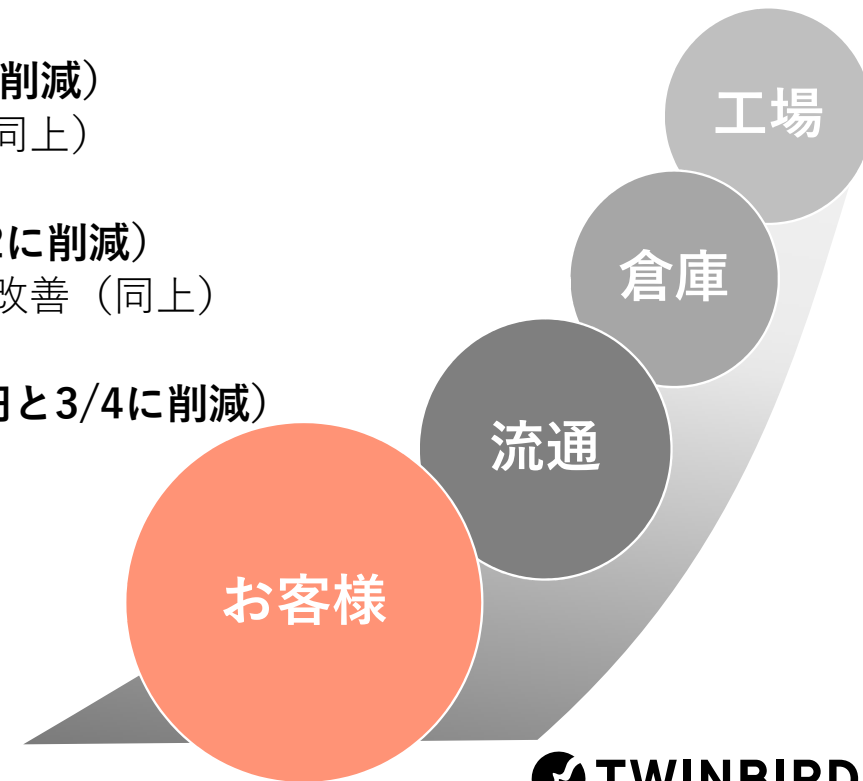
SCM： 在庫圧縮

(**在庫金額：2018期末37億円→2021期末28億円と3/4に削減**)

- ③ **限界利益の改善へ**

→ 運転資産効率の改善

(**ROA：2018期 1.0%→2021期5.1%と約5倍に改善**)



2022年10月

「株式会社 ツインバード」に社名変更

革新的な戦略的新製品のリリース

皆様、どうぞご期待ください！

地域創生への貢献（ふるさと納税の返礼品に採用）

返礼品での
地域の魅力発信

納税額向上による
地域貢献



NIIGATA X TSUBAME

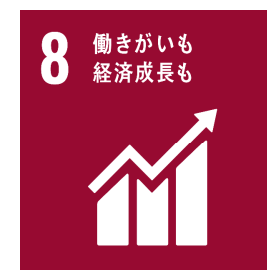
 TWINBIRD

• ふるさと納税とは

生まれ育ったふるさとや応援したい地域など、納税者が選択したどの自治体にでも納税（寄付）し貢献できる制度。寄付額に応じて地域にまつわる返礼品を受け取ることができる

• 積極的に新潟県および燕市と取組み、地域貢献へ

ふるさと納税の返礼品として当社製品をご提供しながら、地域の魅力を発信し、納税額向上による地域貢献



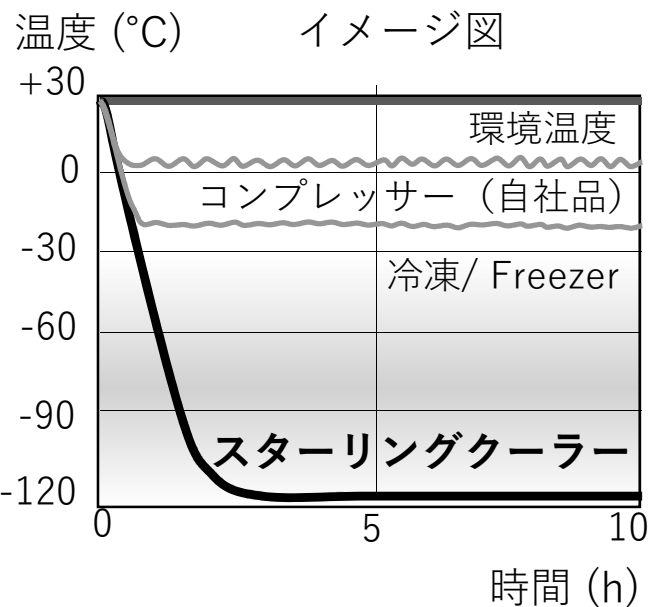
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

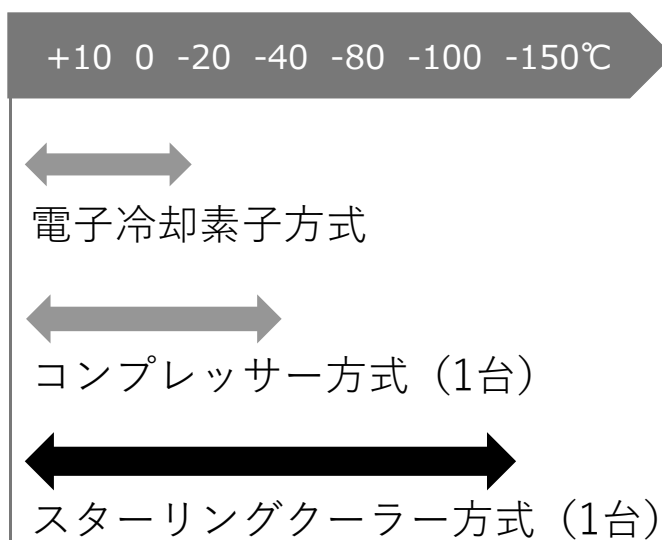
FPSC技術の優位性（コンプレッサー方式との比較）

- ・ スターリング・クーラー方式の技術的優位性を活かした
コールドチェーンの「ラストワンマイル」などの事業領域を拡大

1. 厳密な温度制御



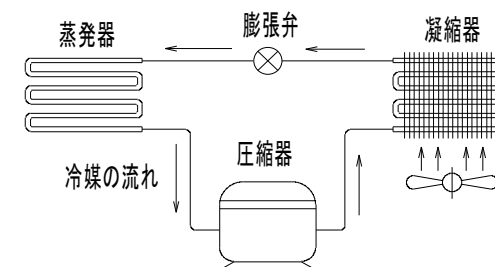
2. 極低温領域への適用



3. コンパクト・ポータブル

■ コンプレッサー方式

- ✓ 冷却システムが複雑
- ✓ 移動中の冷却に適さない



■ スターリングクーラー方式

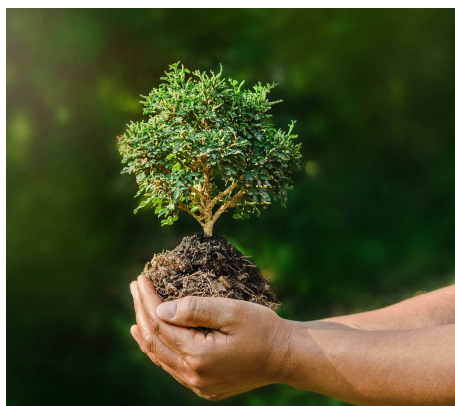
- ✓ システムの小型化やポータブル用途に適する



FPSC技術の優位性（コンプレッサー方式との比較）

4. 環境にやさしい

- ✓ 冷媒にフロン不使用
- ✓ 省エネルギー設計

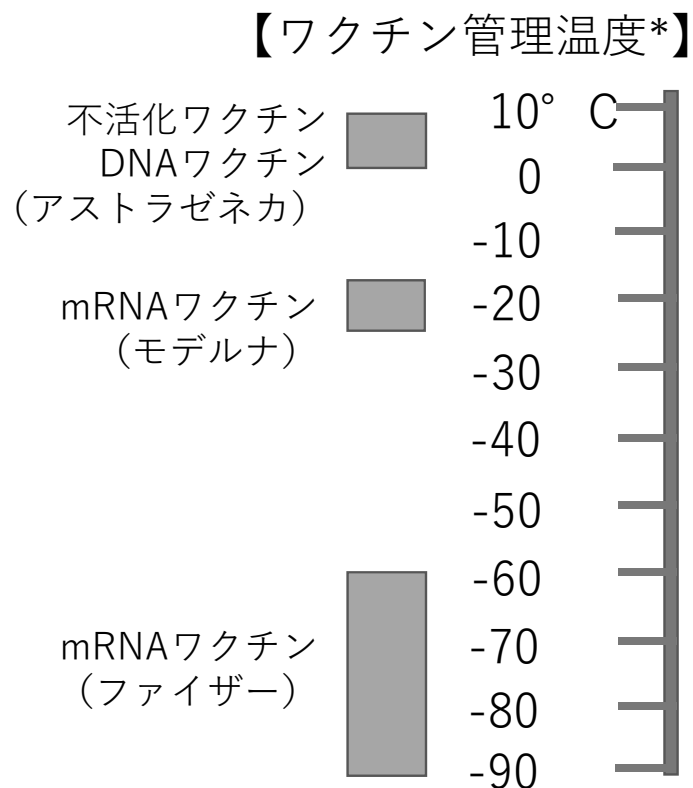


5. 宇宙での利用実績：高い技術力と信頼性



FPSC技術の優位性

ラストワンマイル(接種会場への輸送)における多様なワクチンの管理温度帯に対応



TWINBIRD

バイオ・ワクチン保冷ボックス
SC-BV25
(冷蔵温度帯+4±2° C)



TWINBIRD

ディープフリーザー25L
SC-DF25
(冷蔵冷凍温度帯+10 ~ -40° C)



Global Cooling Inc.

Stirling Ultracold製UTL25NEU
※当社がフリーザーボックス供給
(冷凍・極低温温度帯 -20° C ~ -86° C)

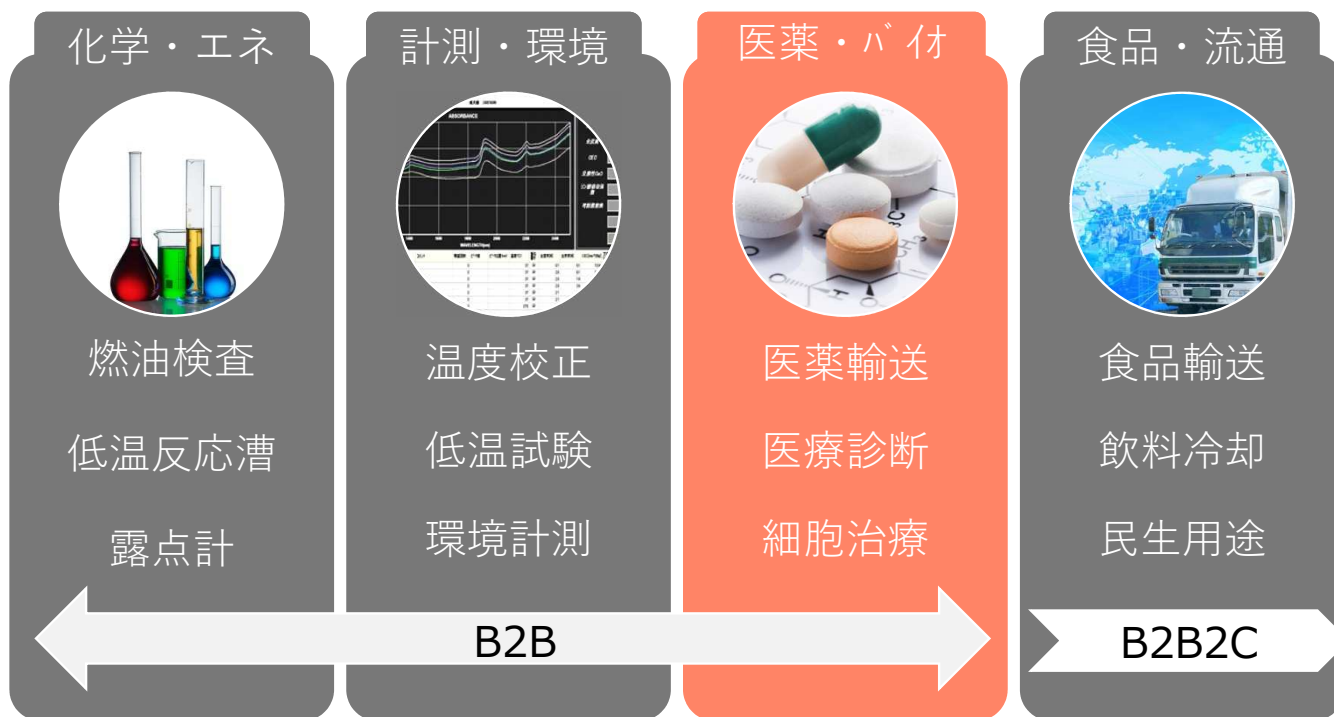


* 厚生労働省資料等を基に当社作成、管理温度は最長有効期間の貯法での温度帯

FPSC製品の注力4分野と主要な地域

- 4分野に注力し、重点顧客との取引深耕と成功事例の横展開により、事業規模の拡大を図る。

注力4分野



※新冷却技術 FPSC (フリー・ピストン・スターリング・クーラー)

主要な地域

北米および欧州



FPSC事業拡大への取組み： 2021年度の進捗状況

ワクチン運搬庫分野でスタンダードの一つとなるよう取組み継続

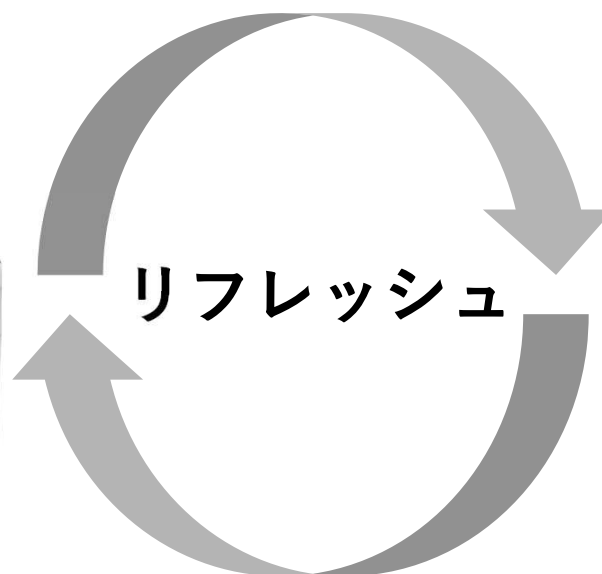


 TWINBIRD + 武田薬品工業株式会社	製品供給	武田薬品工業株式会社にワクチン搬送用として、武田モデルナワクチン用ディープフリーザー（SC - DF25WL）を4月に5,000台出荷
 TWINBIRD + 厚生労働省	製品供給	国内での接種体制拡大に伴い、厚生労働省よりSC-DF25WLの追加受注を獲得し、9月までに累計7,000台（今期2,000台）を納品
 TWINBIRD + 総合警備保障株式会社（ALSOK）	保守体制	安心安全のワクチン接種に向けて、9月に総合警備保障株式会社（ALSOK）との駆けつけサポートサービスの委託契約締結
 TWINBIRD + JICA （独立行政法人 国際協力機構）	海外需要	JICA（独立行政法人 国際協力機構）が手掛ける「ラスト・ワン・マイル支援」に参画 東ティモール、モザンビークへワクチン保冷庫を提供

FPSC事業拡大への取組み：ワクチン運搬庫のリフレッシュサービス

高い信頼性が求められるため**定期的なメンテナンス**（リフレッシュサービス）が必要
3回目以降のワクチン接種に向けたリフレッシュサービスを2021年11月より約6千台実施

接種会場



※最終性能検査

FPSC事業拡大への取組み：コールドチェーン構築による新たな事業領域への挑戦

遺伝子型ワクチンのコールドチェーン構築実績とFPSC方式の技術優位性で新たな事業展開を企図

遺伝子型ワクチン (mRNA*)での 安全安心なコールドチェーン構築実績

- 厚生労働省が採択した唯一の可搬型武田モデルナ社製ワクチン用低温冷凍庫
- 国内10,000台を超える出荷実績、ワクチン接種現場での安心安全の使用実績



* モデルナワクチン、ファイザーワクチン



FPSC方式の技術的優位性の活用

- コンプレッサー方式や他の冷却方式と比較した技術的優位性を活用して事業開発
 - ① 可搬性に優れ「搬送」「保管」で継続使用可能
 - ② 冷蔵・冷凍・極冷凍で1°C刻みの温度設定可能
 - ③ 家電同様の使い易さ、国内生産で高い信頼性
 - ④ 省電力、家庭用電源 およびシガー電源に対応

厳格な温度管理が求められる コールドチェーンへ展開拡大



病院治療

医療研究

治験

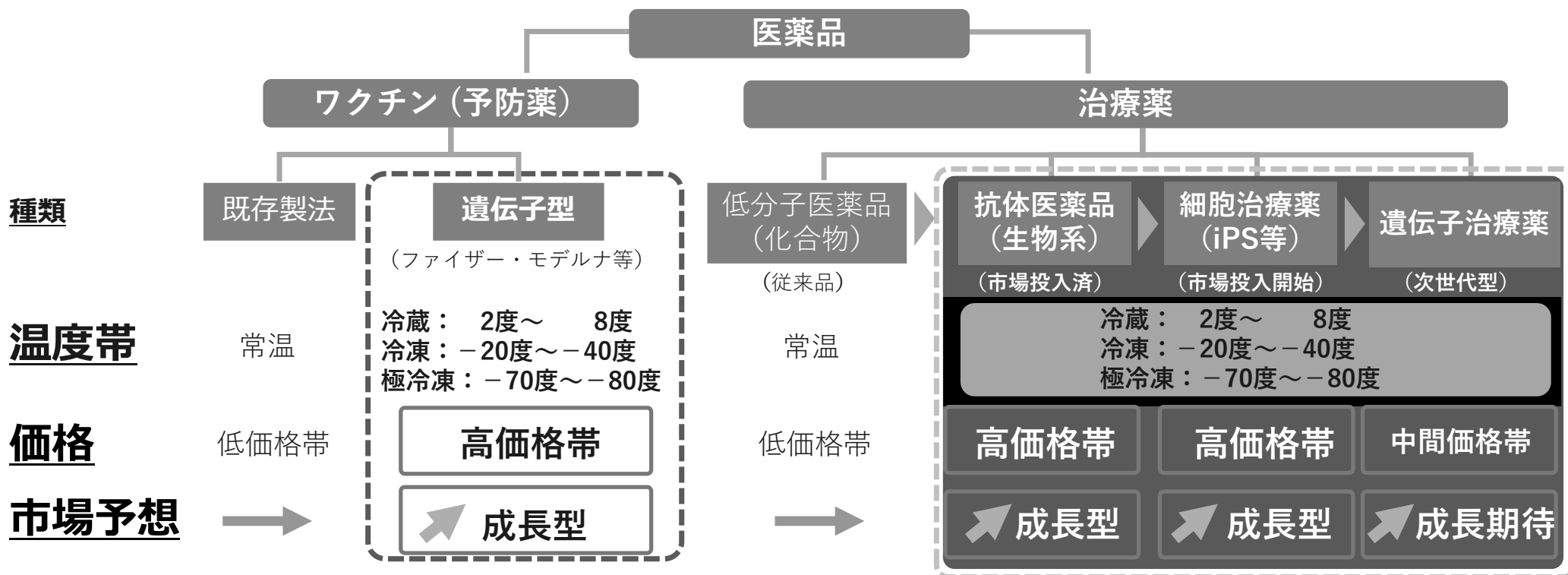
先進的治療薬

【免責事項】

- 上記記述内容には、将来の見通しや取組み内容に関する記述が含まれています。これらの記述は、当該資料を作成した時点における情報や予測に基づいて作成されたものであり、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は様々な要因により、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

FPSC事業拡大への取組み：医薬品分野の「コールドチェーン構築」への貢献

ワクチンに加えて、コールドチェーンを必要とする医薬品のグローバル成長市場、「抗体医薬品 & 細胞治療薬 & 遺伝子治療薬」への事業拡大を企図



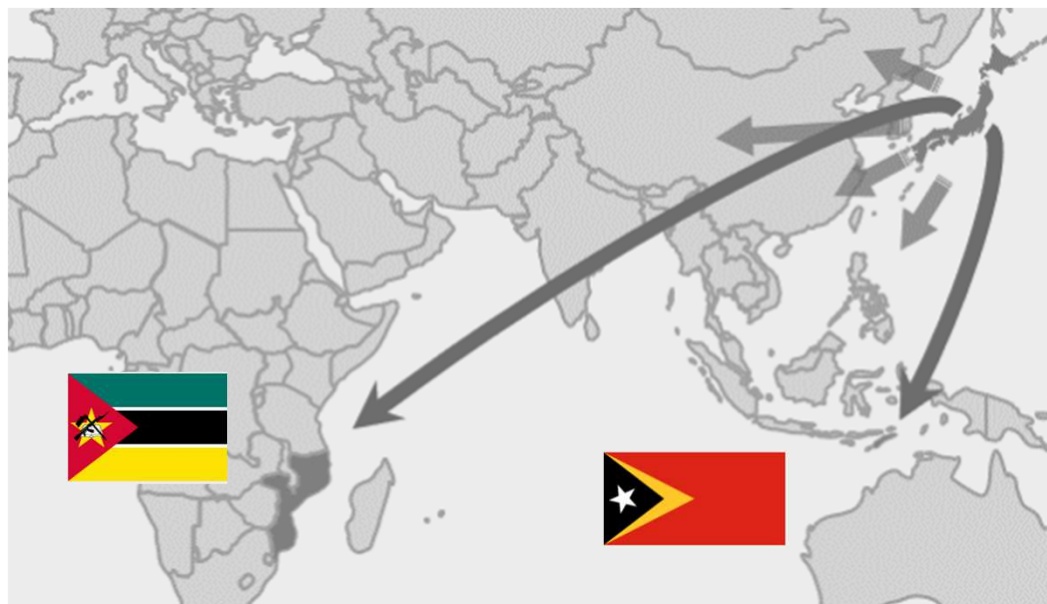
【免責事項】

上記記述内容には、将来の見通しや取組み内容に関する記述が含まれています。これらの記述は、当該資料を作成した時点における情報や予測に基づいて作成されたものであり、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は様々な要因により、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

FPSC事業のグローバル展開：「ラスト・ワン・マイル支援」

アフリカ地域及びアジア地域への拡大を実行中

2021年8月よりJICAを通じて「ラスト・ワン・マイル支援」を通じた東ティモールへ、次いでモザンビークへワクチン運搬庫を出荷
今後さらなるアフリカ地域及びアジア地域への拡大を実行中



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

写真提供：JICA

私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

FPSC事業のグローバル展開：「国際認証取得」

「国際認証取得」に向けた活動

ワクチン運搬庫[SC-DF25WL]の国内での実績より、「国際認証取得」を推進中
国際認証はWHO認可による医療機材の認証制度であるWHOのPQS(Performance, Quality and Safety)認証、
国連関係機関をはじめ、大手NGOや慈善団体の機材選定基準にもなります。

< 国際認証 >

- ①事業所の認証 ISO 9001/ISO 14001
- ②製品の認証 IEC規格(欧州)



<PQS認証>

ワクチン運搬庫
SC-DF25 ディープフリーザー
PQSカテゴリー：E003(Refrigerators and freezers)

WHO認可の医療機材

社会課題解決に向けた活動

グローバル展開の加速

グローバルコールドチェーンのスタンダード技術をめざして

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

3 すべての人に
健康と福祉を



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



13 気候変動に
具体的な対策を



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



新興ウイルスによるパンデミックの可能性や発生頻度は今後益々高まるものと想定されております。

当社は SDGsの一つである「すべての人に健康と福祉を」の達成に向けて、

国内外のネットワークを通じ、グローバル規模での最新技術に基づくコールドチェーンの構築や医療サービスの拡充に参画し、当社スターリング冷凍技術が医療分野でスタンダードの一つとなるよう取り組んでまいります。

私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

DXの加速：ITインフラ強化投資

管理系業務システムやECサイトとコーポレートサイト統合システムが稼働開始
投資効果の最大化に向けて活動を継続するとともに、今後も計画に基づきDX投資を継続

システム	2021年度				2022年度				予定効果 (青字は効果が出始めている)
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
新財務会計システム	★ 11/15稼働				★ 会計BI稼働	BI機能 順次拡張			<ul style="list-style-type: none"> 分析の深化（ダッシュボード、グラフ自動生成） 情報の可視化 資料作成工数の削減
新経費精算システム	★ 11/15稼働				Invoice機能稼働				<ul style="list-style-type: none"> 工数削減（精算書類、法人カード請求との照合など） 利便性向上（外出先から経費申請） 電帳法対応によるペーパーレス
新労務管理システム (人事/給与/勤怠)	★★★ 1/4勤怠、2/14給与稼働				法定調書機能稼働				<ul style="list-style-type: none"> 時間外/有休取得状況の情報の見える化 SaaS導入による法改正対応の工数削減 人事ライン内の業務属人化の解消
タレントマネジメントシステム	一部部門で先行利用開始				★ 人事評価機能稼働				<ul style="list-style-type: none"> 人事評価運用の効率化 人材育成、人員配置シミュレーション 人材情報の一元管理
契約管理システム	★ 11/15稼働								<ul style="list-style-type: none"> 電子契約、ペーパーレス化 属人化の解消（ナレッジの蓄積） 契約書類の一元管理による検索時間短縮
EC/コーポレートサイト リニューアル	★ 11/9公開								<ul style="list-style-type: none"> ECサイトとコーポレートサイト統合により 集客の分散を防ぎ、UX再構築により直販への導線を強化
サプライチェーン最適化	★ 導入ベンダー決定				★ キックオフ				<ul style="list-style-type: none"> 業務プロセスの標準化 業務効率向上、ペーパーレス化 販売計画から調達実行まで一気通関管理

中期経営計画（2020-2022） 財務目標の達成状況

2021年度業績は、ワクチン運搬庫の大量受注と家電事業の収益性改善により、下期から10億円の戦略的投資（キャッシュベース）を前倒しして実行しながらも、計画に対して大幅に利益目標を達成

(百万円)	2019 実績	2020 実績	2020 中計目標	2021 実績	2021 中計目標	2022* 業績予想	2022* 中計目標
純売上高	12,159	12,505	12,200	12,869	12,600	13,000	13,180
営業利益	178	608	250	719	350	280	480
営業利益率	1.5%	4.9%	2.1%	5.6%	2.8%	2.2%	3.6%
経常利益	66	484	130	610	230	240	450
当期純利益 (親会社株主帰属)	△133	164	60	419	150	170	300
ROE	△2.1%	2.3%	0.9%	5.0%	2.3% 以上	1.9% 以上	4.6% 以上
自己資本比率	54.6%	62.2%	59% 程度	78.2%	60% 程度	79% 程度	62% 程度

ロードマップ2
(2023年度以降)

強化した
財務体質を
活用し、
収益の伴う
事業で成長を
目指す

* 2022年度の中計目標及び業績予想は収益認識会計基準適用後の数値となります

ロードマップ1
(2019-2022年度)

収益性と資産効率を改善し、
自己資本の充実・投資余力の確保を図る

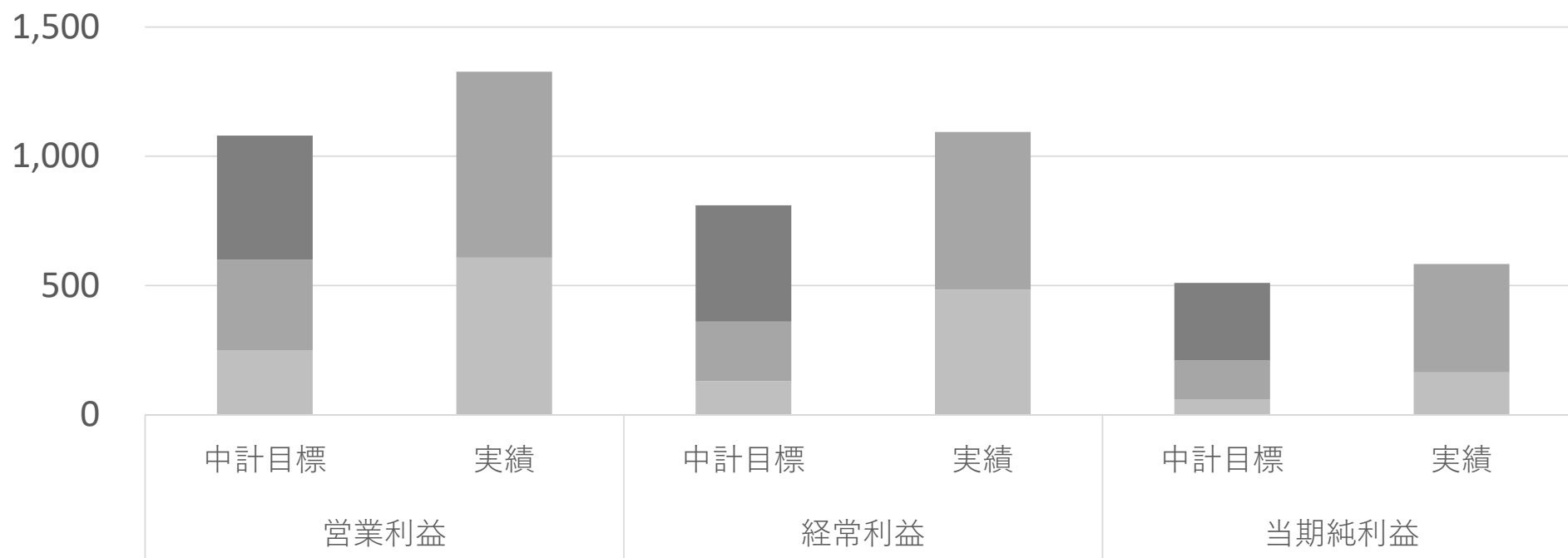
中期経営計画（2020-2022） 財務目標の達成状況 ※再掲

**3年累計の中計利益目標を、最初の2年間で大幅に達成
3年目（2022年度）は戦略的投資の前倒しで次のステージへ**

中計利益目標（累計）の達成状況

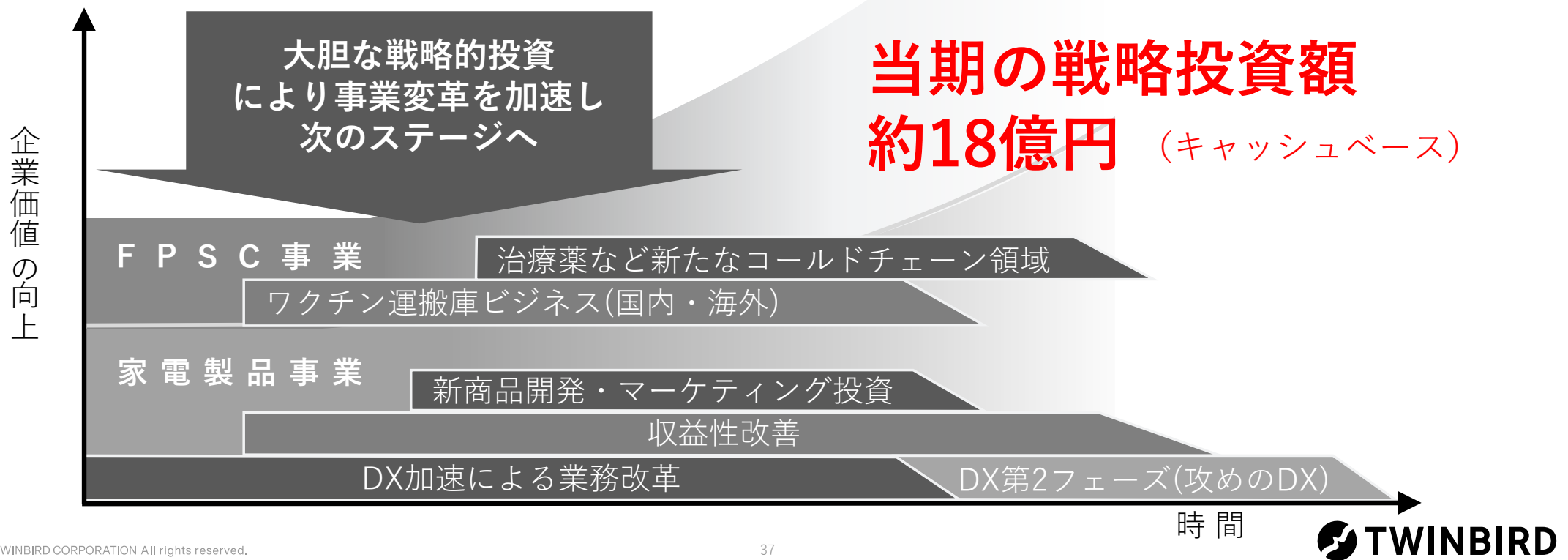
(百万円)

■ 2020 ■ 2021 ■ 2022



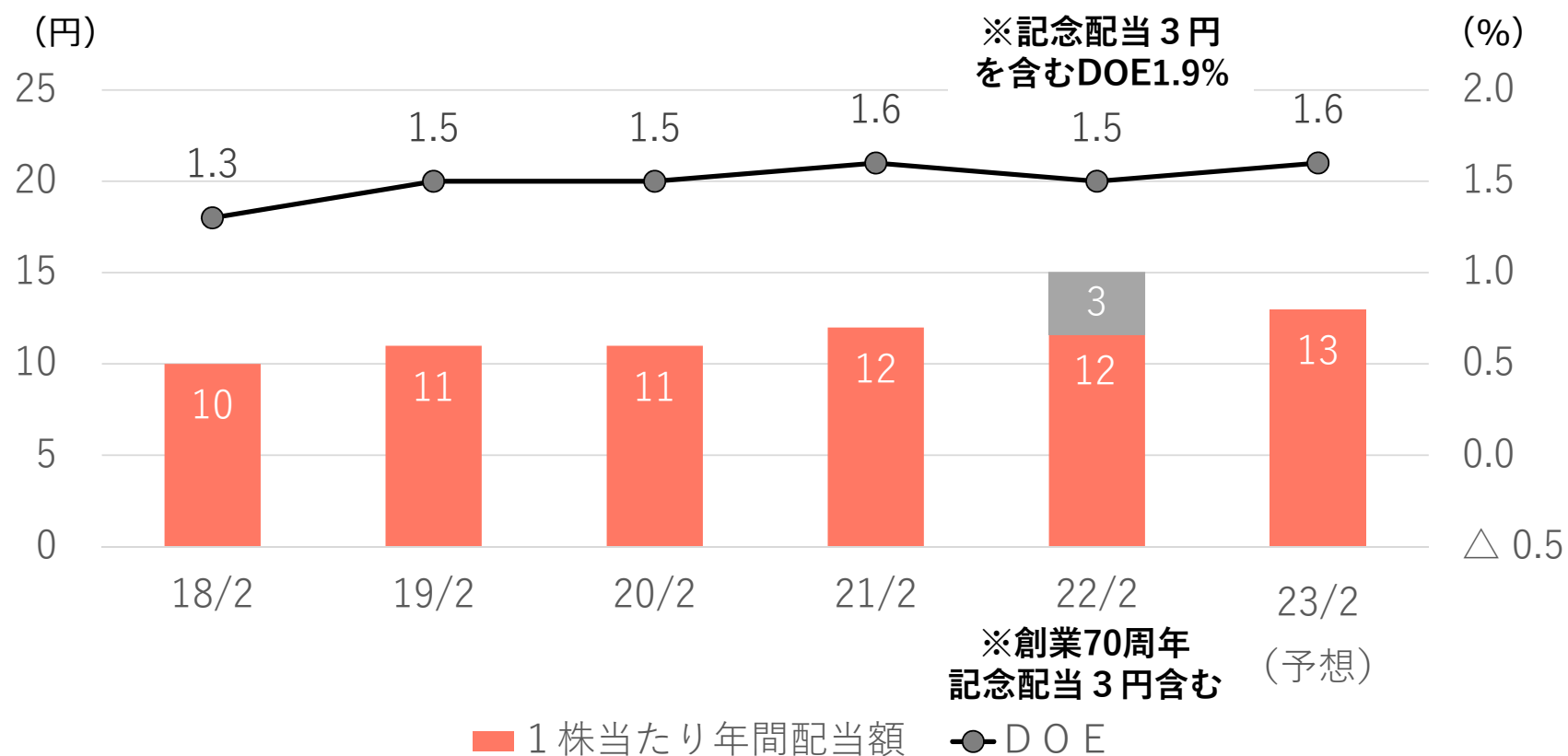
事業シナリオ：家電事業の収益化とFPSC事業の新展開

1. ブランド価値向上
 - ✓ 体験価値を訴求する新商品開発投資
 - ✓ マーケティング投資
2. FPSCのさらなる事業展開
 - ✓ 海外展開
 - ✓ ワクチンに次ぐ医薬品分野への事業拡大を企図
3. DXの加速
 - ✓ DXロードマップに基づく業務領域別投資およびITインフラ強化投資



1株当たり年間配当額、純資産配当率（DOE） ※再掲

期末配当は1株当たり12円（創業70周年記念配当3円含む） 年間配当は15円（前期比3円増配）
 次期配当は1株当たり13円（中間配当3円、期末配当10円） DOEは1.6%を予想



株主優待制度の拡充（2022年度より） ※再掲

株主優待制度の拡充により、高水準の利回りをご提供。投資魅力の向上とともに、当社サービスを体験いただく機会としてより活用頂きやすい制度へ。

優待制度拡充後 配当利回り + 優待利回り = 4.83% ※¹

優待内容：ツインバード公式ホームページからの商品ご購入に使用できる優待クーポン

保有株数	100～1,000株未満	1,000～2,000株未満	2,000～5,000株未満	5,000～10,000株未満	10,000株以上
1年以下 継続保有者	2000円クーポン（1000円UP）				
1年超 継続保有者	3,000円クーポン （1,000円UP）	6,000円クーポン （1,000円UP）	12,000円クーポン （2,000円UP）	20,000円クーポン （新設）	30,000円クーポン （新設）



ブランド 製品・部品 ▾ 読み物 お知らせ お客様サポート ログイン/会員登録 カート



ツインバード公式ホームページでは、公式店限定の特典や会員登録でお得な情報を取得できます

カートに入れる

※1 配当金額は1株当たり12円、株価は2022年2月末日の株価にて算出。

※2 2022年度の株主優待制度より適応いたします。株主優待制度の詳細につきましては当社公式ホームページをご確認ください。

https://www.twinbird.jp/wordpress/wp-content/uploads/2022/02/ir_other_news_20220216.pdf

免責事項：株主優待制度に関する内容は将来変更となる可能性があることにご留意ください。



IRに関するお問い合わせ先

ツインバード工業株式会社 執行役員 経営企画本部 本部長 小林 和則 (TEL : 0256-92-6111)

決算に関するお問い合わせ先

ツインバード工業株式会社 最高財務責任者 執行役員 管理本部 本部長 渡邊 桂三 (TEL : 0256-92-6111)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する意見や予測等は、資料作成時点で一般に認識されている経済・社会等の情勢及び、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されており、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更される可能性があります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。